

議事要旨(5) リース会計専門委員会における検討状況について

冒頭、逆瀬副委員長（専門委員長）及び小賀坂主席研究員より、リース会計についてのIASB/FASBの議論の経緯説明とASBJでの今後の進め方についての説明、さらに、IASB/FASBにおける最近の審議の概況について説明がなされた。説明の後、委員からの主な発言等は、以下のとおりであった。

- ある委員から、貸手の会計について、IASB/FASBでは、履行義務アプローチが用いられる方向で議論されているとのことであるが、貸手がリースした固定資産を支配していることには疑念があるのではないかと、ASBJでの議論の際には支配の概念についてしっかりした議論をしてほしいとのコメントがあった。これに対して事務局からは、IASB/FASBの議論では、貸手として所有している場合は支配にあたるとの意見もあった旨の回答がなされた。
- 別の委員から、IASBとFASBとは以前は大きな相違があったと理解しているが、最近の状況について質問がなされた。
- 同じ委員から、ASBJでの論点整理の公表は、IASB/FASBの公開草案の後の時期がよいとの意見が出され、事務局からは、基本的にはその方向で考えているとの回答がなされた。

以 上